

友田保育園の保護者の皆様へ

2024年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

統制のとれた組織運営によって、利用者に高い満足度を提供しています

園長は全体を俯瞰して経営面の責任と、合理的な将来構想や安全な環境作りなどに注力しています。保育活動については主任とリーダー層が職員の経験や思いなどを理解し、各会議などでの話し合いをリードしており、経営層は役割を明確にして統制のとれた組織運営を実践しています。職員一人ひとりには目標や役割を明確にし、良好な人間関係と協力体制の基でさまざまな行事を実施し、ICT化などの新しいことにも積極的に取り組んでいます。利用者調査では園活動は子どもの心身の発達に役立っているとの回答が非常に多く、高い満足度となっています。

縦割保育を実施して、子どもたちの社会性や主体性を育てています

幼児クラスは縦割保育を実施しています。遊びの中で年上の子どもは年下の子どもの面倒を見てルールを教えるなど遊びの中で思いやりの気持ちを育てています。教えることで知識や行動が認められ、自信となり成長していきます。年下の子どもは教えてもらい物事が上手に出来た喜びを感じ、年上への憧れ、自分も頑張ろうという意欲が芽生えています。子どもたちは自分のできることを知ることで相手ができることを理解しほかの子どもを認める気持ちの基になり、その中で自分はどうしたい、どうしたら良いかなど主体的に物事を考える力が育てられています。

英語、絵画、体操などのプログラムを実施し、子どもの可能性を広げています

園は外部講師を招いて、幼児クラスで英語、絵画、体操のプログラムを実施しています。英語は身近に感じ楽しむことに主眼を置き、絵画では色への知識が想像力を引き出し、体操教室では体幹を鍛え跳び箱などに取り組んでいます。これらの取り組みを通じて子どもたちはさまざまな経験をし、感性や知識を豊かにする機会にしています。さらに、このプログラムで取り組んだことを運動会や地域の文化祭、高齢者に披露しています。子どもが認められた経験や自分が得意なことを見つけることで自己肯定感につながり、一人ひとりの成長の可能性を広げています。

さらなる取り組みが期待される点

事業継続計画の早期策定と、関係者へていねいに周知していくことを期待します

福祉施設である園運営の重要な業務を中断させないことや、早期に園の運営を再開するための方針、体制、行動、発動基準、復旧期の活動などを定めた事業継続計画の策定が求められています。現状は策定に取り組み最終段階になっています。近年は想定を超える大規模災害や事故が発生することがあり、いつ起きるかわからない災害などに対処するために、園児や職員の安全を最優先に早期に完成しておくことが良いでしょう。また、混乱する状況下での活動になりますので、職員をはじめ関係者の理解を得られるようていねいに周知していくことを期待します。

キャリアパス制度の充実により、意欲向上を図る人材育成制度となっていくでしょう

キャリアパスについては、園が求める人材育成と職員が長期的な展望を持つための制度として、役職や担当職務を明確にし、職務分掌表や給与規程を明示しています。しかし、個人別育成計画は園長との個人面談でどのような研修を希望しているのか聞き取り、行政や保育関係団体などが主催する研修の内容や機会を周知し、受講を勧めている状態です。今後、職員の育成の柱となるよう、個人面談の内容を個人別育成計画として作成し、さらに園の特性を踏まえた昇格基準や評価方法などを示すことで、意欲向上を図る人材育成制度となっていくでしょう。

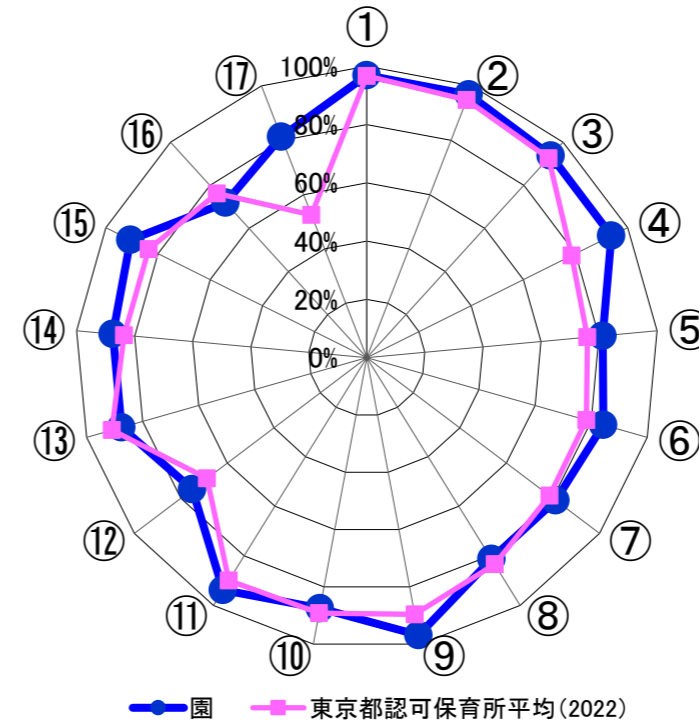
安定した経営と運営のため、環境変化に対応した定員に変更していくと良いでしょう

入所児童数については、平成26年までは認可定員を満了状況が続いていましたが、平成27年度からは減少傾向に転じています。中期計画に地域状況などを勘案して入所児童数を令和4年度から8年度まで推計し、経営の規模や収支を検証していますが、少子化傾向が続く状況下では今後も入所児童数に影響があると想定され、安定した経営と運営のために環境変化に対応した定員に、減数変更する必要があると思われます。行政との交渉や検討になりますが、令和7年度には定員数変更を実現すると共に、入所児確保に関連した対策を講じることも期待します。

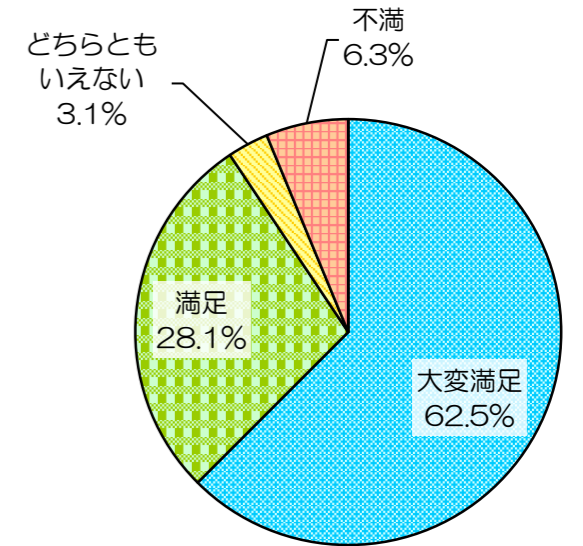
利用者アンケート結果概要

実施期間：2024年9月5日(木)～2024年9月19日(木) 回収率：62.7%

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

令和6年度福祉サービス第三者評価の結果概要をお知らせいたします。評価にあたり保護者の皆様には、「利用者調査（アンケート）」にご協力をいただきましてありがとうございました。

この評価結果を踏まえ友田保育園は、これからも子どもたちの健やかな成長をお手伝いするため保育の質の向上を目指すとともに、安定的な保育園運営に努めてまいります。今後とも保護者の皆様、関係者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
（認証評価機関番号 機構05-149）

